

みうらトーク&トーク 第7弾

日 時 平成20年2月19日（火）

14時00分から15時00分

場 所 青少年会館ホール

参 加 者 市民 8名

市側 7名

テ ー マ みんなでやれるチーム・マイナス
6%

内 容

概要を説明（環境部）

意見交換

（市 長）

三浦市としても市役所を一事業所と捉えて節約の効果もあり電気を消すとか暖房を止めたりするなどを行っています。このテーマは、まったなしの話です。市民のみなさんにこの「みんなでやれるチーム・マイナス6%」という話を浸透させていく思いが強く、行っています。

今、具体的に何を行うかという計画の前段のところです。

今回、みなさんから市民のみなさんに浸透させるための話しや何か良いアイデアなどがあったらお願いします。

私の話ですが、今のこの仕事に就いたからかもしれませんが、以前は、歯を磨くときに水を出しっぱなしだったのを気を付けたり、生ゴミの処理機を買って資源化を図るなどを行っています。

（市 民）

今、私達の集まりで買い物ゲームというものを行っています。普段、主婦同士でもやっているのですが、子どもたちにもやらせています。まずメニューを選んでもらい、例えばカレーライスやうどんなどがありそれを買ってきて下さいというと、それを買ってきたときにその用紙の裏側にこれを廃棄するとどれくらいのCO₂が出るか書いてあります。このCO₂については、根拠のある数字を使っています。

例えば、ジュースが紙パックに入っています。これはリサイクル出来るのですが、ビンに入っている場合だとCO₂の排出量が全く違うので何を選ぶかによって違ってくることを学んでもらったり、



同じものでも、例えば三浦のキャベツと安いからといって地球の裏側から来るものでは、CO₂の排出量の違いなどがあります。

NPO の活動をしている方たちと話をする機会があるので知恵を拝借して子ども会や私たちのグループで啓蒙しています。

NPO の活動で学校に提案したり、学校でその人が、だた、来て教えるのではなく、どんな授業をするかを子どもたちと保護者たちと一緒に話合って5回くらい授業を行っています。

私の子供も小学生まで、そう言ったことも市としても是非取り入れていただければと思います。

(市 民)

今の方の話しや市長さんの話は、そうだと思います。市としても小学生に対し取組みはしていると思います。

地球が死んでしまったら私たちの子供や孫の代はどうになってしまうか心配です。説明してもらったことも色んなところで目にしていますので頭の中では分かっていますが、私達の代でどのようなことが出来るかを考えますがなかなか出来ません。

学校の授業で国レベルか市のレベルか分かりませんが、小学生の低学年から取り入れて欲しいです。主婦の感覚ですが広報紙で見たのですが、三浦市のゴミ焼却の金額が何億円と載っていました。処理は他の県で行なっているはずです。

極論ですが、ゴミ袋でも何でも良いのですが有料にすることもありだと思います。自分が負担をするということになれば買い物さえも変わってきますし、冷蔵庫の中も駄目にしてしまうものもあるので経済的に節約して買い物をしていくと思います。

市でどのくらい税金が使われているかということをごみ収集車に書いてみてはどうですか。

載せることは恥ずかしいことではないと思います。前向きに市が取り組む姿勢の方が大事だと思います。

(市 民)

テレビでやっていたのですが、埼玉の方で学校教育の中で CO₂ をどのように削減するか各クラスで表を作って行っていました。そういうことを学校教育に取り込んでいただきたいです。

私は、「あしたの暮らしを考える会」の中で活動していますが、石鹼の運動を色々行っただけですが、学校教育の部分では浸透しませんでした。

その時にテレビで茅ヶ崎市の小学校の石鹼の話が出ていました。お子さんから石鹼の成分について教えられて初めて石鹼について知りましたというお母さんがいました。

エコカルタもテレビでやっていました。カルタをやって先生が生徒にこれはどういうものなんだと教えていました。遊びの中からも色々と学べると思います。

今の人は、ひと手間をかけないと思います。私は、戦争も経験しているので、ここはちょっと手間をかけてと思うのですが、今の人はそれを行わない方が多いと思います。それがエネルギー問題に変わってきていると思いますので小さい頃から教育を行っていくのが一番良いのではないかと思います。お母さん方にも分かってもらえる一番の近道だと思います。

(市 民)

子どもが家庭に帰ってお母さんに話しをすることは、とても良いことだと思います。

(市 民)

埼玉県ではエコに関して賞を出していますが、賞をもらうとかもらわないとかではなく、そのような教育は必要だと思います。

(市 長)

今までのご意見を聞いてどうですか。

(市 民)

ごもっともだと思います。

先日、環境省がチーム・マイナス6%について各自治体がどのような取り組みをしているかという募集をしました。最優秀賞には、高校生たちの取り組みが選ばれたそうです。

各自治体は、小学生や中学生を含め学生がこういう問題を提起していることを凄く認識したところが多かったです。

子どもたちもテレビや新聞で温暖化について大変だと分かっているけど、実際にどうして大変なのか分からないと思います。まして小学校の低学年ならなおさらです。

最初に説明にあったビデオなどを学校で見せてもらったり三浦市の方から逆に子どもたちにもどのようにしたら良いか提案してもらい、例えば公募でエコの市長賞みたいなものを作ってもらえれば良いのではないかと思います。

みなさんの話のとおり子どもからやっていただければ、大きく広がっていくのではないかと思います。そうすると三浦市の基幹産業の農業、漁業にも浸透していくのではないかと感じました。

(市 民)

10年くらい前ですが茅ヶ崎市に行く用事があり、その時に道路の植木の中にある缶とかを小学生が拾って帰っていました。子どもたちにそれをどうすると聞いたら、私たちはこれを学校に持って帰って缶とビンに別けて売れば学校のお金になるし、道もきれいになり環境のためにも良いこと

だと先生から教わったといっていました。

子どもたちは、素直に入っていくので私たちも見習うところはあると思いました。

(市 民)

やはり、これだけエコが盛んになっているので学校でも話はしていると思います。

家庭で子どもを指導していくことが一番良いことだと思います。

例えば、子どもがお菓子を買ってきて、その袋をお母さんが、ゴミを捨てる際に分別を教えればエコにもつながると思います。やはり家庭の教育が大切だと思います。

ちょっと話は違うかもしれませんがゴミの集配の話ですが、この頃は、大分無くなったのですが係の人によって持っていったりいかなかったりしているので、その辺は、徹底してほしいと思います。

(市 長)

学校教育で地球温暖化問題について学校教育学習の場を取り入れるということは、指導要綱とかもありますので、なかなか難しいと思いますが教育委員会とも相談をしてみます。

家庭でみなさんが身近に節約とかエコについて、意識をもってもらうためにエコ家計簿というものもありますので市として広報していかなくتهはいけないと思います。

市としても、今後、施策は考えていきますが、何か参考になるご意見をいただけるとありがたいのです。

(市 民)

三浦市のアジェンジダを作るということですか。

(市 長)

今は県の事業として行っていますが、これを集めるのも一つの手段だと思います。

(市 民)

三浦独自で作ることも出来ます。

(市 長)

そういう感覚に近いと思います。

(市 民)

三浦市独自とすれば、わかりやすいので行ったほうが良いと思います。

(市 民)

例えば三浦市産の農産物を買うとか。

(市 長)

行政としては、こういう問題にきちんと取り組んでいるということもアピールしなければいけませんし、職員も一生懸命やっているなかで評価されないといけないと思います。

(市 民)

市の状況にあった、今、話があった地場産品の話や顔が見える食材などいろいろ相乗効果があると思います。

作っている方の顔が見えるので食材も無駄にしないなどあると思います。

(市 長)

先ほど話をいただいたように市民のみなさんに提案をもらったりするのも一つの手段だと思います。

(市 民)

市の方から提案して市民の知恵を借りたいという場合に広報紙で周知すると思いますが、余り見ている人が少ないように感じるのですが。

(市 長)

前段でこういった広報で周知をしないと問題意識を持たないと思います。今後、職員とも考えていこうという話はしています。

(市 民)

今回、見せてもらったビデオを町内会などに貸し出しをすれば良いと思います。

あと、スーパーに行くと、私はスーパーの袋は、いりませんといっています。

自分で買い物袋を持っていっているので袋をいらないといった人には、そこのお店でポイントを高くするとかの協力をしてもらえば良いのではないかと思います。

(市 民)

市内でもポイントが付く所はあります。

(市 長)

せっかく来たので何かご意見をお願いします。

(市 民)

自分では、ここに載っている項目については、結構、実践している項目があったので、そういう意味では満足しています。

個人的には出来ることはやっていますので胸張っていえますが、電源を切るということについては

行っていませんでした。

あと、今、気になっているのはゴミの水切りです。水切りを行ってくださいという話を毎月くらい広報紙で見ます。絞っているのですがカラカラになるほど絞っていません。

今後、もうちょっとやろうと思いました。

(市 長)

ゴミの水切りの話がでたので説明をさせていただきます。

水を切っていないと焼却に出す時に重さでお金が多くかかります。ですから、資源化のこともありますがなるべく軽くするよう指示しています。

(市 民)

みんながそういう事を知らないので、やはりこういう身近なところから直していく必要があると思います。

(市 民)

私も毎月そういう広報紙に記事が出ていたので関心を持つようになりました。

(市 民)

先ほどの話に戻りますが、ゴミの焼却費はおいくらですか。

(市 長)

約5億円です。 焼却灰は、三重県にもって行っています。

(市 民)

やはり、重要な課題なので市民に意識をもってもらう必要があると思います。

(市 長)

資源化、リユース・リサイクルを含めて行うというこうとは、温暖化防止に繋がることだと思います。そういう意味ではやることすべてが上手くいけば効果があると思います。

それをみなさんに意識をもってもらうためにどうしたら良いかを考えていかなくてはいけません。

(市 民)

今、町内会などは活動をしているのですか。

(市 民)

各町内では活動はしていると思います。

(市 民)

他には、ホームページの話ですが、市が周知するのにホームページを使っていますが、ホームページが出来ない人も結構いますので、広報紙や回覧版にもっと出して欲しいです。

(市 長)

先ほどのお子さんに遊び感覚で機会を持たせるということは、良いことだと思います。

(市 民)

この場合は、市民のみなさんが、身近なアイデアを出す場なのか、市がどういう形で市民に意識をもってもらうための方法を聞く場なのかが分からなくなっていました。

市が市民に意識を持ってもらおうとしたら、市が自然と共生していく漁業や農業があって、たしかに爆発的に人口が増えたり、何か大きな産業が来る行政区域ではないが、助け合いながら豊かに暮らしていける持続可能な行政区だというイメージを作って、そのためにお互いに譲り合いながらやっていくイメージを作る方が細かいことを決めるよりも浸透するのではないかと思います。

(市 長)

今、市の政策で行っています。

(市 民)

最初は、市民が苦勞するかもしれないが、思い切ってやってみる必要があると思います。

P R T R法についても化学物質も家庭から結構出て心配なのに市からは聞えてきたことがありません。

昨年、せっけん強化月間中にポスターをお持ちした時に市の窓口の方にお見せしたら余りピンときてない印象を受けました。

P R T R法は、作られてから8年位経っていて主に事業所で排出されている化学物質についての取り決めですが、家庭からの排出も結構多いのでそれを意識するような働きかけが必要だと思います。

これだけ海が近くて、排出されたものを食べた魚を食べたり、地面にもしみ込んでしまいます。

思い切って産業が伸びて大金持ちの行政区でないかもしれないが、すごく住みやすい豊かでずっと続いていく行政区だというイメージを作ってもらいたいです。

(市 長)

それを、今、重点的に行っていますが、なかなか浸透しなくて申し訳ありません。

(市 民)

それがなかなか見えてこないところがあると思います。

(市 長)

このような機会をもっと作っていきたいと思います。

先ほど担当の方から説明があったように大きな問題から市としてこんなことを行っているお話し

をして、みなさんからこんなことが良いとかのご意見をいただき、それを直していくようなイメージが一番良いと思います。

(市 民)

テレビで見たのですが、知っているけどしていないことがすごく多いと思います。

他には、少しずつみんなが努力しても結果がなかなか目に見えてこないのも、何か報告がないと刺激がなくやらなくなってしまいます。

これだけ良くなったと分かるものがあればもう少し力が入るのではないかと思います。

(職 員)

環境家計簿があります。入力するとこれだけ節約できますよと出てきます。

CO₂でどれくらい、お金でも出てきます。

これが一番分かりやすいのではないかと思います。

(市 民)

目に見やすい形ですと私たちが良くやるのは、牛乳です。紙パック（リサイクル）とビン（リユース）で行います。リサイクルとリユースとではCO₂の排出量が全く違いリユースの方が少ないです。

年間に飲んだ量を紙パックとビンとで比較して大きな風船を膨らませてこれだけCO₂を削減しましたということを子どもに話をしています。

(市 長)

やはり、結果が見えないとやはり何をやってもつまらないと思います。

(市 民)

結果が見えないからみんなそうなっていると思います。結果が見えれば変わっていくと思います。

今、私は電気料表や水道料金表を昨年と比較しています。これはエコのためにも活用できると思います。

(市 長)

ありがとうございました。

(事務局)

本日は、お忙しい中、貴重な意見をありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

これでトーク＆トークを終了します。

※ 公表については、了解を得ております。